プログラム

■日程：8月6日（木）　■場所：講演会場（1F オレンジホール）

開　会　式　10：00〜10：30

開会宣言　水方　智子（一般社団法人日本看護学校協議会　会長）
山﨑　正博（学会長　近森病院附属看護学校　学校長）
来賓挨拶　藤野　晋太郎（高知県健康政策部　部長）
野並　誠二（高知県医師会　会長）
森下　安子（高知県看護協会　会長）

特別講演1　10：30〜11：20

座長：川井　和哉（社会医療法人近森会　近森病院　院長）

日本の医療の現状と看護職員の養成・確保、活躍についての期待

演者：習田　由美子（厚生労働省　医政局看護課　課長）

学会長講演　11：20〜12：00

座長：水方　智子（一般社団法人日本看護学校協議会　会長）

私が学校長として取り組んで来たこと〜国語教育と解剖・生理の概念理解〜

演者：山﨑　正博（社会医療法人近森会　近森病院附属看護学校　学校長）

ランチョンセミナー1　12：10〜13：10

座長：牛尾　栄治（GEヘルスケア・ジャパン株式会社　戦略事業本部　共創事業部　シニア・ソリューション・コンサルタント）

病院経営と看護の課題は？その解決にデジタルの力で取り組む医療機関の実例

演者：大越　厚（GEヘルスケア・ジャパン株式会社　戦略事業本部　共創事業部　シニア・プロダクト・マネージャー）

共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

基 調 講 演　13：20〜14：20

座長：谷本　千亜紀（京都保健衛生専門学校）

AI時代に輝く看護師―未来への羅針盤［6つのスピリット］

演者：鈴木　敏恵（シンクタンク未来教育ビジョン代表・未来教育デザイナー・一級建築士）

特別講演2　14：20〜15：00

座長：河西　光子（共立高等看護学院）

進化する看護師をつくろう

演者：入江　博之（社会医療法人近森会　理事長）

一般演題（口演）1　15：05〜15：41

AI/DX時代の看護教育イノベーション

座長：今田　良子（四国中央医療福祉総合学院）

O1-1　看護専門学校における実習記録のデジタル化の実際
齊藤　千晶（姫路赤十字看護専門学校）

O1-2　終末期看護における教育用電子カルテを活用した実技試験の学習効果について
伊藤　しおり（東海アクシス看護専門学校）

O1-3　セル看護提供方式®の導入による看護技術到達度への影響
玉木　佳子（明石医療センター附属看護専門学校）

O1-4　看護専門学校における「経営学」導入の学習効果
―学生のイメージと継続調査による比較検討―
酒井　久美（奈良看護大学校）

一般演題（口演）2　15：41〜16：17

主体的学びを育む教育実践

座長：万代　ゆかり（岡山労災看護専門学校）

O2-1　手浴ケア実践が及ぼす身体的及び心理的有効性に関する文献検討
横道　博子（富山福祉短期大学　看護学科）

O2-2　技術演習における看護教員のファシリテーターとしての役割と指導方法の検討
細瀧　朝美（八事看護専門学校）

O2-3　プロジェクト学習を導入した働く世代への健康支援に向けた成人看護学実習の学び
千葉　暁（神戸市医師会看護専門学校）

O2-4　実習リフレクションにおける教員の支援に関する検討
―学生・教員へのアンケート調査の分析を通して―
片野　真（千葉市青葉看護専門学校）

ワークショップ　16：30〜17：30（17：20 リフレクション）

さあ！「意志ある学び」を実現！
―AI×情報×プロジェクト学習

演者：鈴木　敏恵（シンクタンク未来教育ビジョン代表・未来教育デザイナー・一級建築士）

■日程：8月7日（金）　■場所：講演会場（1F オレンジホール）

教育講演　9：00〜10：00

座長：山田　かおる（勤医会東葛看護専門学校）

未来の窓を開ける鍵―変わらぬ看護の本質を求め伝えること

演者：川嶋　みどり
（健和会臨床看護学研究所／日本赤十字看護大学／一般社団法人日本て・あーて推進協会）

一般演題（口演）3　10：10〜10：46

学生支援と学習環境

座長：田中　亜紀子（下関看護リハビリテーション学校）

O3-1　「心の健康」に関する学生の考え方の変化
精神看護学実習前後の比較
森重　サユリ（鹿児島中央看護専門学校）

O3-2　発達障害傾向にある看護学生の技術演習における困りごとへの支援
大谷　聖子（福島県厚生農業協同組合連合会　白河厚生総合病院付属高等看護学院）

O3-3　困りごとを抱える学生への支援体制の構築
―A看護師養成所における組織的支援の取り組み―
志田　淳子（白河厚生総合病院付属高等看護学院）

O3-4　学生が安心して入れる教員室にしたい！なぜ「教員室は苦手」なのか
―教員による「なぜなぜ分析」から―
都留　万里子（学校法人慈恵大学　慈恵柏看護専門学校）

一般演題（口演）4　10：46〜11：22

実践力を育む臨地実習教育

座長：太田　美枝（松山看護専門学校　第1看護学科）

O4-1　急性期看護学実習での学びを支援するための講義と演習の実践
―急性期看護学実習への心理的ハードルを下げるためのアプローチとその効果―
石神　美由紀（地域医療機能推進機構大阪病院附属看護専門学校）

O4-2　２年課程での臨地実習を終了した学生の看護技術経験の実態
―「看護師教育の技術項目と卒業時の到達度」調査結果より―
飛田　明美（八事看護専門学校）

O4-3　看護学生の学びを支える専任教員と実習指導者のあり方について
―A看護専門学校の主たる実習施設における検討―
近藤　隆生（ソワニエ看護専門学校）

O4-4　統合実習における臨床判断記録様式の工夫
―シャドーイング実習記録のSCAT分析―
山下　幸枝（華頂看護専門学校）

一般演題（口演）5　11：22～11：58

地域のいのちと暮らしを支える看護教育

座長：山下　久美子（四国医療専門学校）

O5-1　母性看護学実習における男子看護学生の困難に関する文献検討
羽賀　美晴（上尾中央看護専門学校）

O5-2　学生の死生観を知り終末期看護の教育を考える～死生観をどう教えるか／どう育むか～
角谷　ふみ江（八事看護専門学校）

O5-3　実習指導者会議における新たな取り組みの効果と課題
森田　司穂（豊橋市立看護専門学校）

O5-4　地域で育てる看護師教育を考える会の取組と展望
中原　美栄（和歌山県立高等看護学院）

ランチョンセミナー2　12：20～13：20

座長：堀口　一明（株式会社医学書院常務取締役）

原点回帰　ナイチンゲールに学ぶAI時代のマインドセット術

演者：高橋　聖子（折尾愛真高等学校看護専攻科教諭）

共催：株式会社 医学書院

特別企画　13：20～13：30

ナースまつり2026「日本一働きやすい病院アワード」大賞　近森病院

学生企画　13：40～14：20

私の学校自慢

座長：山﨑　心奈（高知県立幡多看護専門学校　２年）
山﨑　歩（開成情報看護専門学校　３年）

演者：豊田　鈴音・和田　絆愛（島根県立石見高等看護学院　２年）
花本　美衣奈（広島県厚生連尾道看護専門学校　３年）
岡田　二千翔（四国医療専門学校　４年）
曽我部　彩羽（四国中央医療福祉総合学院　２年）
谷相　虎・白石　李來（龍馬看護ふくし専門学校　３年）

シンポジウム　14：20〜15：12

AIと地域医療から看護教育を考える

座長：森下　安子（公益社団法人　高知県看護協会　会長）

SY-1　看護の未来を拓くＤＸ〜看護の働き方を変え、患者に向き合う時間を増やすための第一歩〜
永野　智恵（社会医療法人近森会　看護DX推進部　副看護部長）

SY-2　地域へ出る経験が病院看護師を育てる
―AI時代に求められる看護実践能力とコミュニティナース活動―
中野　知美（特定医療法人長生会　大井田病院　地域連携相談室　コミュニティナース）

SY-3　地域で育む「意志ある学び」
―「看護の統合と実践Ⅰ」におけるグローカルプロジェクトへの挑戦―
平瀬　節子（社会医療法人近森会　近森病院附属看護学校　副学校長）

SY-4　つながる世界　―地域で暮らす立場から―
釣井　龍秀（定福寺住職／豊永郷民俗資料館館長（地域ESD活動拠点）／大豊町観光開発協会理事長／NPO法人豊永郷民俗資料保存会理事長／高知県立高知城歴史博物館評議員）

パネルディスカッション　15：20〜16：10

南海トラフ地震に対する高知県の取り組み

座長：井原　則之（社会医療法人近森会　近森病院　救急科　部長）

PD-1　本当の南海トラフ地震対策とは―復興を見据えた高知県の地域づくり―
井原　則之（社会医療法人近森会　近森病院　救急科　部長）

PD-2　南海トラフ地震に対する幡多地域の取り組み
〜 地域医療連携推進法人（はたまるパートナーズ）ができること 〜
矢部　敏和（地域医療連携推進法人はたまるパートナーズ　循環器内科）

PD-3　地元で活動する地域災害支援ナース
中島　信恵（公益社団法人高知県看護協会　専務理事）

PD-4　馬路村の住民防災力を高める取り組み　〜看護職の立場から地域を支える防災活動〜
牛窓　裕美子（馬路診療所　馬路村役場　健康福祉課）

PD-5　看護学校におけるBCPの取り組み
中山　潤一（社会医療法人近森会　近森病院附属看護学校　事務長）

閉　会　式　16：10〜16：40

私の学校自慢表彰式

閉会　学会長挨拶
山﨑　正博（社会医療法人近森会　近森病院附属看護学校　学校長）

次期学会長挨拶
戸田　爲久（社会医療法人生長会専門学校　ベルランド看護福祉大学校　学校長）

■日程：8月7日（金）　■場所：ポスター会場（4F 第6多目的室）

一般演題（示説）1　10：10～12：00

学生の学びを支える教育実践

座長：大沢　たか子（開成情報看護専門学校）

P1-1　看護学生によるピアエデュケーションの経験が先輩学生の役割認識と不安・困難感に与える影響―2年生が1年生へ看護技術指導を行う場面に焦点を当てて―
天野　果奈（尾北看護専門学校）

P1-2　看護基礎教育における看護技術教育の実態と課題
長田　晶子（医療福祉専門学校　緑生館　総合看護学科）

P1-3　学生の看護実践力向上を目指した演習の成果
前野　紗英子（酒田市立酒田看護専門学校）

P1-4　A県立看護専門学校1年生に単位未修得に至る要因と背景
－学生が感じたストレスや困難感と単位未修得となった原因要因の認識－
井村　幸子（神奈川県立衛生看護専門学校　星槎大学大学院客員研究員）

P1-5　新旧カリキュラムにおける看護学生の同一OSCE成績の比較検証
関野　恭子（富士市立看護専門学校）

P1-6　看護学生の客観的臨床能力試験に臨床看護師が参加したことによる成果
山本　春菜（愛生会看護専門学校）

P1-7　看護ケア実践中における看護専門学生の臨床判断の思考過程の様相
野崎　希元（那覇市医師会那覇看護専門学校）

一般演題（示説）2　10：10～12：00

地域・連携・実践を育む教育

座長：松下　真弓（高知県立幡多看護専門学校）

P2-1　地域・在宅看護論実習Ⅰにおける臨地実習指導者との連携と課題
―アンケート調査の分析から―
山下　千代美（尾北看護専門学校）

P2-2　寺・葬儀社（終末期）実習における教育的効果
上田　恵（丹波市立看護専門学校）

P2-3　多職種連携教育（IPE）演習の成果と課題
佐野　和美（愛仁会看護助産専門学校）

P2-4　看護学生の実習経験が多職種連携能力に与える効果
北野　一惠（丹波市立看護専門学校）

P2-5　フルマラソンにおける救護活動
―AED隊として参加した学生の実践的学び―
藤井　園美子（四国医療専門学校）

P2-6　シマニテクナースプログラム
～急性期から在宅までを一貫して学ぶ地域包括ケア実習の構築と初動報告～
堀　重信（みえ大橋学園　ユマニテク看護助産専門学校）

P2-7　精神看護学における当事者参加型の講義の効果と課題
中西　康二（沖縄看護専門学校）

一般演題（示説）3　10：10～12：00

AI/DXと未来の教育

座長：石元　美佐（龍馬看護ふくし専門学校）

P3-1　助産学実習における電子記録導入の試み（第一報）
橋戸　好美（京都府医師会看護専門学校）

P3-2　AIリテラシー教育を取り入れた看護過程演習の取り組みと今後の課題
吉田　優加（琴似看護専門学校）

P3-3　iPad導入後の看護学実習における実習記録の電子化に向けた取り組み
木村　剛士（沖縄看護専門学校）

P3-4　Z世代看護学生の学習初動を支援するアバター育成型学習ツールの初年度評価
水谷　朱美（ユマニテク看護助産専門学校）

P3-5　助産学実習における電子記録導入の試み（第2報）
―導入後1年間の実践からみた効果と課題―
井本　寛美（京都府医師会看護専門学校）